



5年生宿泊教室 part2

昨日の12日(火)夜は、ナイトハイクが行われました。怖い人たちも行けるように手を繋いだり、声を掛け合ったりして協力することができました。

また今日の13日(水)の午前中は、谷越えオリエンテーリングを行いました。オリエンテーリングは専用で作られた地図を使って、大自然の中に設置されたチェックポイントを辿りながら歩いて回るアウトドアスポーツです。子供たちは阿蘇の大地を活動班ごとにまとまって、地図を見て、行き先を見通して出発しました。高岳を見ながら、ポイントを目指し、美しい阿蘇の大自然を自分たちの足で踏みしめながら進みました。子供たちは「全部回れなくても誰も悪くないよ、急がなくていいよ。」「がんばって。」などたくさん励まし合う声が聞かれました。子供たちは今回の目標である、「協力」する姿に少しずつ近づいているようです。また、班長が忙しいときも周りの子供たちがカバーしている姿が見られるようになってきました。

昼食を食べたあとは、「ASO びんピック」という活動を行いました。ASO びんピックは、体育館で行い、投げる力や転がす力、集中する力など様々な力を試すゲームに班で協力しながらチャレンジし、得点を競います。「ASO びんピック」を体験した子供たちの感想です。「スポーツを通して楽しいこととか難しいことの経験ができた。みんなで協力しながらポイントを稼ぐから、みんなのために『👁️ 帯西イエロー』の心で頑張っている。」「自分が思っているよりも高い点数が取れたし、楽しくできてよかった。班の人たちと助け合って合計点数を伸ばして、『👁️ 帯西グリーン』の心が伸びた。」このように、子供たちは、たくさんの体験を通して、心を働かせて行動することの心地よさを感じているようです。



谷越えオリエンテーリング



ASO びんピック



ASO びんピック

犬の鼻から発見!

私は以前、黒のラブラドルレトリバー(鉄平♂)を飼っていました。いつも鼻をすり寄せて私の頬をぺろぺろと舐めていましたが、よく脱走し、他の黒ラブと紛れると一瞬どれが鉄平なのか分からない時がありました。実は、そんなときに一瞬で自分の犬だと認識するアプリが開発されています。このアプリは、犬の鼻=鼻紋で識別するそうです。実は鼻紋は、犬の鼻の表面の筋状の模様で、犬一匹ずつ違うそうです。このアプリに飼い主が愛犬の鼻紋をスマホで撮って登録しておきます。そして迷い犬の発見者が犬の鼻を撮影してアプリで送ると、AIで識別し、迷い犬の居場所を離れ離れになった登録済みの飼い主に教えてくれるそうです。災害などの有事の際に役立つと言われています。

